



仙台市リサイクル
シンボルマーク
「メビウスちゃん」



● 編集・発行 仙台市環境局廃棄物管理課
● 電話 022-214-8227

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

- グループ学習会「コミュニケーション編」..... 1P
- グループ学習会「やってみよう編」/グループ学習会「問題解決編」..... 2P
- グループ学習会「やってみよう編」/クリーンメイト市環境施設見学会 3P
- 仙台市環境局からのお知らせ 4P



↑参加者の名演技にみんな感心しました。



↑隣り合わせの方とコミュニケーション。相手との共通点を探ります。

学習会の最後には、グループ毎に寸劇を発表。推進員活動の際に実際に出会うような場面を設定して、理想的なコミュニケーションとなるように、台本を作って演技しました。

最後の振り返りでは、「なんといいってもあいさつが大切だよね」「確かにごみの出し方について注意する前に、良好な人間関係を作っておくことは大切だよね」…みな、改めてコミュニケーションの大切さを実感する二日間となりました。

昨年九月から十一月にかけて、クリーン仙台推進員対象のグループ学習会「コミュニケーション編」三コースを開催しました。今年度が初めてとなるこの学習会には、二日間、三コースで、合計百十四人の推進員が受講し、町内会における効果的な指導のあり方、ご近所との良好なコミュニケーションの取り方など

グループ学習会「コミュニケーション編」を開催しました。

どを学びました。

「コミュニケーションの基本は、まず相手の話をよく聴くこと。そのためには相手に関心を持つことです。自分との共通の話題を見つけると、その人との関係を近づけることができます。会話の中で、例えば二人ともサッカーに興味があることが分かったと、それだけでもその人に親しみを感じますよね。」との講師の話の後、実際に「耳を傾ける」演習を行いました。

仙台市環境局 からのお知らせ

「資源とごみの分け方・出し方」は、三月中旬に戸別配付します。

冊子「資源とごみの分け方・出し方」の平成二十三年度版を、三月中旬から下旬にかけて、配送業者が直接各戸にお届けします。三

平成22年度ごみ集積所排出実態調査の報告書をお送りします。



平成22年度ごみ集積所排出実態調査の報告書が完成しましたので、推進員・メイト・町内会長の皆さまにお送りします。今回は439町内会が参加し、推進員807人及びメイトをはじめとする協力者957人が調査を行いました。なお今年度から、調査参加推進員を対象に、区毎集計の報告を兼ねた「推進員報告会・交流会」を各環境事業所主催で開催しています。

月末になっても届かない場合は、廃棄物管理課へご連絡ください。

なお、四月以降に市内に引越してこられる方々には、不動産会社店舗や区役所戸籍住民課窓口などで配付します。また、町内会でご使用になるなど必要な場合にはお配りしますので、お住まいの区の環境事業所、または、廃棄物管理

課へご連絡ください。

「資源とごみの分け方・出し方」
外国語版もあります。

冊子「資源とごみの分け方・出し方」の英語、中国語、韓国語版をご希望の場合は、最寄りの環境事業所、または、廃棄物管理課へご連絡ください。

※在庫に限りがあり、ご要望にお答えできない場合がありますので、ご了承ください。

引越し時期は土日祝日も臨時ごみの申し込みを受け付けます。

引越し時期の土日祝日は、臨時ごみの自己搬入と収集の申し込みを受け付けます。

- 期間 三月十四日～四月三日
- 自己搬入 午前九時～午後四時十五分/今泉工場(二八九・四六七) / 葛岡工場(二七七・五三九九)
- 臨時ごみ収集の受け付け 午前八時～午後五時/各環境事業所

環境事業所のご案内

- 青葉環境事業所 277-5300
- 宮城野環境事業所 236-5300
- 若林環境事業所 289-2051
- 太白環境事業所 248-5300
- 泉環境事業所 773-5300

〇〇〇編集後記〇〇〇

◆早いものでまた引越しシーズンの到来です。推進員の皆さまにとっては、一番頭を悩ませることが多い季節、不法投棄で困ったとき、新住民に説明会を開きたいときなどは、お気軽に環境事業所にご連絡ください(中西)

◆厳しい寒さの時期。加えてインフルエンザや花粉症など体調を脅かす嫌な季節となりました。お出かけの際やご活動の際は、防寒対策やマスクの着用など、身体をしっかりガードして厳しい冬を乗り切りましょう。(三上)



みんなで出したアイデアを実践・検証

～グループ学習会「やってみよう編」
報告会を開催～

昨年5月に開始したグループ学習会「やってみよう編」。二つのコースに分かれて、合計31人の推進員が参加しました。最終日となった10月には、それぞれのグループの6カ月の成果の発表を行いました。各グループの発表内容を抜粋して紹介します。

「ペットボトルの出し方」

「フタとラベルをはずして、軽くすすいで、つぶしてもらおう」のが基本。そのためにはポスターが有効という結論に達し、それぞれが工夫を凝らし、ポスターを手作りしました。苦手意識があつたけれど、慣れた方のご指導で作ることができました。勉強会楽しかったです。

「集積所の鳥獣対策」

みんなでアイデアをたくさん出し合い、その中でそれぞれの町内会ができることを実践しました。町内会によって、ネットに鈴、テグス、黄色い旗などを付けてみました。カラスは黄色が嫌いだというのはやっぱり違うようです。効果があつたといわれている黄色いネットにはカップサイシン(化学物質の一種)が入つていて、そのにおいを嫌うという説もあるそうですよ。

グループ学習会「問題解決編」を開催しました。

昨年九月から十月にかけて、グループ学習会「問題解決編」を開催しました。二日間コースで三回実施され、合計五十五人の推進員が参加。初日は、配役を決めてグループ毎に地域における町内会等の会合を模擬的に行うワーク。配役の際には、日ごろの立場とは逆の立場になりきるというルールで実施しました。「町内会長さんがこんなに大変な思いをして、会



合を取り仕切っているんだと、実感。人の立場になつて考えるとよく言うけれど、このワークを通して、その言葉の意味を改めて感じました」などの感想が寄せられました。

二日目は話し合いのコツについてのワーク。「何が話し合いを中断させているか」「どんなルールがあるか」「スムーズか」討議しました。「みんなが見えるところで記録を取ること大切だね。見えてると同じ話を繰り返さないですむし。ポスターの裏紙に書いてもいいんだ」「発言を要約しないで書き留めることが大切」など活発な意見が飛び交っていました。

地域での問題解決に向けた上手な話し合いのコツを習得した二日間となりました。

メイト市環境施設見学会を開催



昨年11月から12月に掛けて、クリーンメイトを対象とした、市環境施設見学会を開催しました。参加者は98人。見学先は松森工場と松森資源化センター。参加者は、手作業での缶びん選別作業姿を見て、ルールを守ってごみを出すことの大切さを実感していました。

「紙の分別」※火曜コース

「まずは紙の出し方周知が大切」ということで、リサイクル推進課が発行しているパンフレットを利用し作成したチラシを戸別配付することにしました。チラシには推進員の氏名・連絡先と「紙の分別について分からないことを記載してください」というアナウンスも記載。各町内会で、同じチラシを戸別配付しました。また、配付前と後の排出状況も調査しました。結果としては、

「紙の分別」※金曜コース

知られていないのは雑がみの分別。話し合いの結果、我々は、いろいろな雑がみを持ち寄って、出し方の再確認に時間を掛けることにしました。パッケージもどんどん新しいものが出てくるから、本当に雑がみとして出せるか、判断に迷うものも多かったです。最終的には、ポスター

「集積所の美化」

集積所に関わる問題は多岐にわたることから、グループの話し合いは、集まったメンバー共通の課題である「集積所の美化」に特化した話し合いとしました。ポスター掲示、清掃用具の設置などを行い、集積所の美化を実現することができました。地域の皆さんのごみに対する意識も高まったようです。

「ごみの正しい出し方周知」

困っている事の書き出しでは、問題が多岐にわたって出されました。解決策もものすごい量です。その中で、それぞれの町内



会ができることを実践しました。役員会でまず話し合いを持った方、集積所工作物の設置に向けての予算化に向けた取り組みを始めた方、初めてポスターを掲示した方、町内会で環境イベントを開催した方。このほかにもたくさんの方のアイデアが出ましたから、今後もそれぞれの町内会で、可能なものから取り組んでいきたいと思えます。